



職員ワークショップ



第3回まとめ

新庁舎建設における「職員の目線」での意見、意向を出し合いました！

◆第3回ワークショップ◆

開催日：12月13日（金）
開催時間：10：00～12：00
開催場所：大口庁舎 大会議室

-----当日のプログラム-----

- ①開会、あいさつ
- ②本日のプログラム、前回のふりかえり、
情報提供
- ③新庁舎（複合施設）の機能及び配置案の
たたき台の説明
- ④質疑応答・意見交換
- ⑤まとめ
- ⑥閉会

財政課庁舎建設推進係では、新庁舎建設に向けた検討を進めており、今年度は大口ふれあいセンター周辺にまちの活性化に寄与する複合施設として新庁舎を整備するための基本計画を策定する予定です。

この新庁舎建設に伴い、市民が自由に意見を交換し、アイデアや提案を出し合う全4回の市民ワークショップを開催しており、これにあわせて、職員目線での意見、意向を出し合い、各課の目線、専門的な視点から基本計画の内容を確認することを目的に、全3回の職員ワークショップを開催しています。

第3回は、新庁舎（複合施設）の機能及び配置案のたたき台について、各課の目線、専門的な視点から内容を確認し、自由に意見交換を行いました。

■第3回ワークショップの様子



■職員ワークショップの全3回のプログラム

回	テーマ	開催日	会場
第1回	新庁舎のあり方について	10月23日（水）	大口庁舎
第2回	新庁舎の配置について	11月19日（火）	菱刈庁舎
第3回	基本計画素案のたたき台の確認	12月13日（金）	大口庁舎

意見交換のまとめ

新庁舎（複合施設）の機能及び配置案のたたき台について、各課の考え及び職員一人ひとりの意見を自由に出し合いました。出た意見は、項目ごとにまとめました。

<窓口・案内サービスに関すること>

- ・総合窓口は必要
- ・総合窓口ではなくて、総合案内でよいのではないか
- ・窓口でのフンストップ機能ができるのか、どのように機能させるのか検討が必要である
- ・掲示板、案内板を充実させたほうが良い（わかりやすさ、多言語対応等）
- ・市民に開かれた部分と業務上のセキュリティとのバランスを考慮した配置（窓口）にしてほしい
- ・窓口は市民に開かれているほうがよいが、相談の業務はプライバシー確保への配慮が必要（オープンな部分とクローズな部分のメリハリが必要）
- ・執務スペース（窓口機能）を中央に配置して、そのまわりを市民が回るような配置にしてはどうか

<利用者への安心安全に関すること>

- ・バスロータリー・駐車場からの動線に配慮する必要（移動の際の安全性の確保）
- ・敷地内への車の乗り入れについて安全面からの検討が必要（公用車の乗り入れ等）

<利用者への利便性に関すること>

- ・誰もが立ち寄りやすい庁舎にすることは重要
- ・観光協会と PR 課は連動するため、同じ場所がよい
- ・大口バスセンターは市の公共交通の心臓部分であり、バス停の配置には配慮が必要、かつ、デジタルサイネージの設置など、観光客への配慮も必要
- ・バスロータリーの位置は、敷地内がよいか、既存のままがよいか、検討が必要
- ・高齢者の庁舎への来やすさに配慮し、菱刈庁舎に残す機能の検討が必要
- ・包括支援センターは大口・菱刈それぞれに置いたままの方がよい

<執務空間に関すること>

- ・職員が働く場としてワクワクするような、働きやすさの向上につながるような要素（執務機能）の検討が必要
- ・現在の組織体制（課）でよいか検討が必要
- ・執務空間におけるセキュリティの確保が必要（IC カード管理等）
- ・マイナンバーを活用したサービスの効率化、セキュリティ管理を徹底したシステム等の導入についても検討が必要
- ・各課共有の打ち合わせスペース（業者との打ち合せ等）が必要
- ・会計課は ATM・金融窓口と近い配置がよい

<大口ふれあいセンターとの複合化に関すること>

- ・複合化のあり方をもっと具体化すべき
- ・庁舎は静かに、賑わいはふれあいセンターでつくるほうがよい
- ・図書館、資料館の蔵書・収蔵スペースは一定面積が必要であり、配慮が必要
- ・和室は現在避難所として機能しており、考慮が必要
- ・アトリウム内に 2 階フロアをつくり、執務空間にしてはどうか
- ・図書館は利便性を考慮すると 1 階がよい、ただし、1 階は盗難の心配がある
- ・子育て支援センターの機能を配置してほしい

<建設・建物に関すること>

- ・庁舎建設とまちの拠点づくりとの関連性をより明確にすることが必要
- ・伊佐のまちづくりに考慮した庁舎デザインにしてほしい
- ・使用する資材・床材の検討が必要
- ・屋上緑化より太陽光発電を設置したほうが将来的によい（光熱費削減、災害時対策等）
- ・上層階の使い方を検討すべき
- ・建設コストの削減だけでなく、維持管理コストを考慮した設計にすべき（ライフサイクルコストを低減できる庁舎にすべき）
- ・非常用電源など必ず必要になる設備の面積や配置は先に具体的に位置づけるべき
- ・大口ふれあいセンター周辺の電柱の地中化もあわせて考えていきたい

<災害時対応に関すること>

- ・防災・災害対策の拠点としての機能を充実させ、それを PR すべき
- ・非常用電源でどこまで機能をまかなうか検討が必要（停電時のシステム管理等）